



Medicine-Based Town

MBT

VOL.13
September 2023
CONSORTIUM

医学を基礎とするまちづくり

コロナ禍からの反転、攻めのMBT活動

特集

- 1) NHK「かんさい熱視線」
- 2) イノベーションストリーム出展
- 3) 湘南アイパークへの参画



2023年4月14日 NHK「かんさい熱視線～地方の危機を”攻める”大学が救う！？～」で熱弁を振るう細井裕司理事長
【再現写真】

コロナ禍からの反転、攻めのMBT活動

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月初旬に中国の武漢市で第1例目の感染者が報告され、2020年1月には国内第1例が奈良医大で治療されたのちに、強く行動が制限されました。これに対してMBTコンソーシアムは、「コロナ克服キャンペーン」を立ち上げて新型コロナに対抗、「難病克服キャンペーン」で希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境の啓発と、難病研究者や治療に携わる人々を支援する社会貢献活動に力を入れて参りました。

新型コロナが5類に移行、対面での活動ができるようになったこの機に、産学官連携活動も再び注力して参ります。

MBT活動トピックス

1) NHK「かんさい熱視線～地方の危機を"攻める"大学が救う！?～」

奈良医大とMBTコンソーシアムのMBT連携活動を、NHK大阪放送局が4月14日の「かんさい熱視線」で紹介

その内容は、国が全国800余ある大学の中から国際卓越研究大学を認定しようとしており、認定されると国から最大3000億円が配分されて支援されます。一方で認定大学と地方の大学との格差が広がってしまう懸念があり、そのような状況においていかに存在感を高める事ができるのか、地方の大学が特色を出して、"攻めて稼ぐ"という動きが活発になる中、奈良医大のMBT活動が注目されました。30分の番組のうち約15分を割いて、「**地元企業**の眠れる技術×**大学**の知見」と題して奈良医大と会員企業が共同研究で成果をあげた2例(株式会社三笠、やまと真空工業株式会社)が紹介されました。



田垣内 健工場長
株式会社三笠
奈良工場



城戸 顯教授
奈良県立医科大学
リハビリテーション科

地元企業の眠れる技術×**大学**の知見①:(株)三笠とリハビリテーション科の共同開発事例(手指機能強化手袋)[再現写真]



岩本策三社長
やまと真空工業株式会社



中野竜一准教授
奈良県立医科大学
微生物感染症学講座

地元企業の眠れる技術×**大学**の知見②:やまと真空工業(株)と微生物感染症学講座の共同開発事例(銅合金蒸着マスク)[再現写真]

2) イノベーションストリーム出展

2/21,22イノベーションストリームKANSAI6.0に出展。2件のMBT研究開発活動成果を展示

関西の大学、研究機関による最先端の技術やサービス、大学発スタートアップ起業などの研究成果を展示、体験する表題の展示会がグランフロント大阪北館の地下2階コンгрェコンベンションセンターで開催され、奈良医大とMBTコンソーシアムは連携して活動成果のブース展示を行いました。

展示した「MEP用弾性ストッキング」「手指機能強化手袋」は、**会員企業の特殊編み物技術で開発、奈良医大の研究者が医学的評価を行い有効性を確認したもので、MBTロゴマークの承認も得て商品化**に至りました。

産学連携による研究開発を希望してブースを訪れた企業から成果に至ったプロセスの熱心な質問等もあり、実りある展示会出展となりました。



参加企業とMBTメンバー



説明を聞く熱心な来場者

3)湘南アイパークへの参画

奈良県立医科大学は、創薬分野の产学連携強化と情報発信のチャネル拡大を目的として、湘南ヘルスイノベーションパーク(略称:湘南アイパーク、<https://www.shonan-ipark.com/>)に加盟

奈良県立医科大学では、大学発ベンチャー「モルミル株式会社」を立ち上げるなど創薬シーズの社会実装に取り組んでいますが、今回の加盟により、創薬や医薬品の分野で活動する企業やベンチャーとの連携を深め、医薬品創出機会の拡大を進めます。また湘南アイパークは、専門家によるスタートアップの起業支援サービスも有しており、大学発ベンチャー設立において外部の有識者のアドバイスを受けることも可能です。

現在、あらゆる産業分野が医療分野に注目していますが、ビジネスや製品が多様化とグローバル化する中、様々な企業やアカデミアが協同して分担するエコシステムがますます重要になってきています。多くの加盟企業やアカデミアを有する湘南アイパークと連携することで、MBTの理念である「医学を基礎とするまちづくり」や産業創成を実現するエコシステムをさらに強化し発展させていくことが期待されます。

すでに、アカデミアと企業の产学連携担当者が集まる交流会に参加するなど活動を開始していますが、今後も湘南アイパークが主催する展示会への出展や奈良県立医科大学とMBTコンソーシアムの研究成果を発信するセミナー開催などを予定しています。

また、難病克服キャンペーンをはじめとするMBTコンソーシアムの活動やイベントについても、湘南アイパークに加盟する企業やアカデミアに向けて発信し、賛同者を増やし大きな流れになるよう情報発信を進めます。



湘南ヘルスイノベーションパーク



产学連携交流会の模様(湘南ヘルスイノベーションパーク内)

4)開発成果発表:電力データ活用によるMBTリンク健康見守り

MBT研究所の梅田智広研究教授が参加の北海道沼田町での健康・見守り支援事業において、“家庭電力データの活用が健見守りや行動変容の促進に有効”という実証実験成果を5月16日に東京で報道発表

奈良医大発ベンチャー企業のMBTリンク株(代表取締役社長:梅田智広氏)と東京電力グループの(株)エナジーゲートウェイ(代表取締役社長:酒井正充氏)は、2019年から北海道沼田町(町長:横山茂氏)の協力を得て、約3年間にわたりICT活用による地域住民見守りシステムの実証実験を進めてきました。その中で、生体データを使うことなく家庭の電力メータに取り付けたモニタリングセンサーのデータ活用で、住人の健康を見守り、行動変容を促すのに有効である、という成果を、5月16日に東京の大手町で、約100人の報道や業界関係者に向けて発表しました。

実証実験では、家庭のエアコン、電子レンジ、洗濯機、TVなどの使用で変化する電力データを活用し、その使用データの特徴から、医学的知見を活かしながらデータ相互の相関関係や意味を解析します。そしてライフスタイルを、①生活スコア、②食事スコア、③活動スコア、の3つのカテゴリーに区分し1分単位でスコアを計測して、発生頻度、周期性、実施時間、などを過去データを基に客観的評価を行いスコア化、スコア点数が大きいほど規則正しい健康的なライフスタイルであるとして評価するものです。今後、全国の自治体や企業等との見守り事業展開を予定しています。

沼田町での実証実験を紹介する関連動画です。 <https://youtu.be/n4WVvP2Tc20>



発表会に参加の、左から
酒井正充氏、梅田智広氏、横山茂氏



約100人の報道や業界関係者に向けて発表

5) MBT特命教授、講師の講演～奈良医大1回生に向けて～

梅岡比俊MBT特命講師

【医療法人梅華会グループ理事長】

2023年4月24日

「医師の視点から

考える起業家精神」



1)人生を豊かにするために、アルバイトをたくさんして欲しい。

2)いろいろな方と接して欲しい。他の大学と交流、コネクションを持ち人脈を広げる。

3)医師にもエネルギー、体力が必要。クラブ活動で運動する習慣を。

4)人を大切にするコミュニケーション能力をつけて欲しい。

5)健康がすべてではないが、健康を失うとすべてを失う。

矢野博丈MBT特命教授

【(株)ダイソーフレッシュマーケット創業者】

2023年5月15日

「厳しい日本」



- 1)実社会は優しくは迎えてくれない。人生は艱難辛苦を何回乗り越えられるかである。
- 2)若いときの行動は力がつく。興味のあることは何でもやつたらよい。人生に幅ができる。
- 3)現在の日本は恵まれ過ぎた不幸せな状態にあり、鍛えることが忘れ去られている。
- 4)2070年、日本の人口が半分、産業も半分になり、殆どの自治体は成立しなくなる事を意味する。その中でどうして生きていくかが問われている。
- 5)天職を見つけ、徳を積み、感謝の念を持ち、自分を防衛しないといけない時代になる。
- 6)しんどい時を乗り越える魔法の言葉、それは、「ありがとう、ありがとう」である。
- 7)挨拶は利益の源泉であり、感謝する力を持って乗り切ってください。

森雅彦MBT特命教授

【DMG森精機(株)代表取締役社長】

2023年5月22日

「工作機械の世界と

DMG森精機

の経営ビジョン」



- 1)森精機の商売の原点は、しんどい人の嫌がることを代わりにやること。
- 2)様々な業種で高精度な機械加工の要望が増加、どのような用途にも使える加工機械づくりを目指している。
- 3)モノづくりは大きく変革している。従来は複数部品を個々に加工して組み立てていたが、現在は3軸一発加工で組み立て不要。2070年の人口は7000万人と激減し人手不足を予想、その時代を先取りしている。
- 4)奈良医大生に送る、充実した人生のためのメッセージ
 - ・①よく遊ぶ ②よく学ぶ ③よく働く
 - ・体力、気力、学力、知識・知恵
 - ・必須スキル:英語とマナー(外国人と付き合うには、服装、食事、振る舞い、は重要)
 - ・人生のステップ:20代は“Vitality”、30代は“Specialty”、40代は“Originality”、50代は“Personality”

中村勝MBT特命教授

【クオールホールディングス(株)会長】

2023年6月5日

「50歳からの0スタート

経営」



- 1)50歳の創業は、家族に何故と問い合わせられたが、自分の生き方をすべて決めてきた結果である。間違いない判断を行う為に自分を強くすることが重要。
- 2)法華経の一句に「慈眼視衆生(じげんししうじょう)」という言葉がある。“すべての人に優しい眼差しで接する”の意味だ。医療の本質は患者に寄り添うこと、安心を与えることだ。皆様は、東大寺の大仏や京都の三十三間堂の千仏など、衆生に安心感を与える大きな社寺、仏像がある恵まれた地で学んでいます。
- 3)自分は、どこから来て、今どこにいて、どこへ行こうとしているのか、真剣に考えることが必要だ。志を持つことが最も重要だ。考えて行動に移さないと結果につながらない。自分が望んだことしか実現しない。
- 4)自分に自信と誇りをもって患者の前に立ってほしい。

長榮周作MBT特命教授

【前パナソニック(株)会長】

2023年7月10日

「剣道と経営」



- 1)「トップのスキル」トップがおかしいと会社はおかしくなる。トップの人間形成、ヒューマンスキルが重要、併せて経営者を監督・牽制する仕組みも重要。
- 2)「攻防一体」成長戦略と構造戦略は経営の両輪。次の攻めにつながる防であるべき。
- 3)「理不尽耐性」理不尽さにくさらず、克服により生きる耐性がつく。
- 4)「衆知を集める経営」上意下達と下位上達のバランスが良い会社を作る。
- 5)「中間管理職は中心管理職」部下の提案を吸い上げ、上司には自らの考えた提案ができる組織の中心的役割を果たす。
- 6)「自律」自ら考え、目的に向かって突き進む。

Column エム・ビー・ティ

MBT発想の原点が花開いてきました。

MBTコンソーシアム理事長 細井裕司



MBTは、2004年の軟骨伝導という医学的発見を契機として医学的発見は、「論文執筆で終わらせてはならない」また「病気の人だけでなく一般の健康人のQOLにも資する製品を世界の人々に届けることによって世の中に貢献する」ということを原点としています。2022年にオーディオテクニカ社から「世界初の軟骨伝導ヘッドホン」が発売されましたが、発見から18年が経過していました。続いて、2023年にTRA社から「世界初の軟骨伝導集音器」が発売されました。この集音器を応用して「窓口用軟骨伝導聴覚補助イヤホン」を考案しました。役所や金融機関の窓口には目の悪い高齢者のための老眼鏡が用意されていますが、聞こえについてはなんら手だてはされていません。その理由は、通常のイヤホンは音が出る穴があり、先に使用した人の耳垢が固着して不潔だからできなかったのです。軟骨伝導イヤホンは音が出る穴がなく、凹凸がないので清潔であることから実現しました。このことはテレビや新聞などで頻回に報道されていますのでご存知の方も多いと思います。大変時間がかかりましたが、MBT発想の原点が花開いてきました。

6) 奈良医大発ベンチャー企業活動状況

奈良医大発ベンチャー企業は6社。各社がそれぞれの特色を生かして活動しています。

①2018年10月設立
MBTリンク株式会社
梅田智広 代表取締役(MBT研究所研究教授)



梅田智広氏は、MBT研究所の研究教授で、バイタルのみならずライフスタイルセンシングを軸にした「MBTLINKヘルスケアサービス」を事業展開。
1)5月16日に「家庭電力データ活用による健康見守り」の記者発表を行った(2ページ参照)。
2)現在の活動フィールドは21都道府県、41ヶ所。

②2021年7月設立
MBT微生物研究所株式会社
矢野寿一 代表取締役(微生物感染症学講座教授)

矢野寿一氏は、奈良医大微生物感染症学講座の教授。

- 1)新型コロナの不活化試験が可能。
- 2)その他、院内感染の原因となる細菌の不活効果も試験可能。

③2021年10月設立
MBT感染対策支援コンサルティング 株式会社
笠原敬 代表取締役(感染症センター教授)

笠原敬氏は、奈良医大附属病院感染症センターの教授で、感染症のスペシャリスト。
1)医療機関、福祉施設、イベントや事業における感染対策の助言や実地指導。
2)感染対策に関する講習会などの企画や講師派遣。
など、感染症対策に関する活動は多岐に渡る。

④2022年1月設立
株式会社MBT保健医療
衛生研究開発機構
今村知明 代表取締役(公衆衛生学講座教授)



今村知明氏は、疾病別National DataBaseを分析できる我が国の第一人者。
1)レセプト情報を時系列分析する事により様々な有用な情報を得ることができる。
2)①R4年1月:摂南大学、②R5年6月:国立循環器病研究センターと研究契約締結、奈良県庁や多くの医学研究機関から研究契約の申し入れが寄せられている。

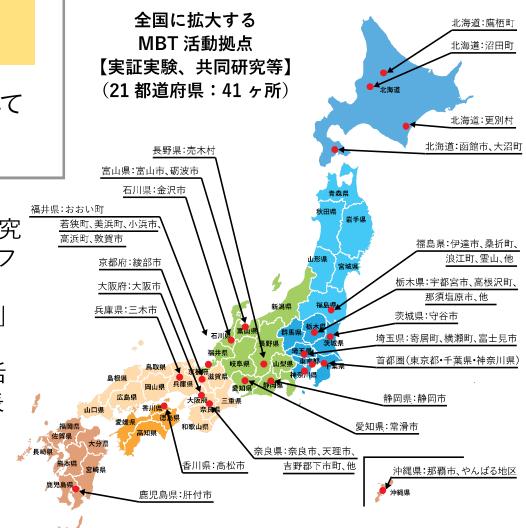
⑤2022年6月設立
モルミル株式会社
森英一朗 CEO(未来基礎医学准教授)



森英一朗氏は、細胞内における相分離現象研究の第一人者。
1)原子レベルで分子の動きを捉え、治療薬開発や難病治療法開発を行う。
2)2社よりプレシードラウンドとして資金調達を実施。

⑥2022年10月設立
株式会社MBTジョブレオーネ
岡山弘美 代表取締役

岡山弘美氏は、下記のコンサルティングも含めた業務が活動範囲。
1)障害者雇用の体制作り、人材育成及びトレーニング等に関する指導。
2)障害者雇用に関する講演会等の企画や講師派遣。
3)医療的ケア児及び難病児等の保育支援並びに保育所の運営等々。



7) 2023年度理事会役員体制

役職	氏名	所属
理事長	細井 裕司	公立大学法人奈良県立医科大学
理事	矢尾 雅義	凸版印刷株式会社
理事	井垣 貴子	株式会社健康都市デザイン研究所
理事	古橋 宏次	富士通Japan株式会社
理事	植田 洋史	関西電力株式会社

役職	氏名	所属
理事	柄澤 忍	クオール株式会社
理事	毛利 嘉晃	奈良県庁
理事	西岡 幹雄	橿原市役所
理事	宇都宮弘和	公立大学法人奈良県立医科大学
監事	西本 佳央	株式会社南都銀行

難病克服キャンペーン

MBT(Medicine-Based Town: 医学を基礎とするまちづくり)コンソーシアムは、奈良県立医科大学と連携し、医学を通して社会貢献活動を推進する一般社団法人です。

希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただき、難病研究者や治療に携わる人々を支援する「MBT難病克服キャンペーン」を推進しています。その主な取り組みは、

- 1)独自のアイデアをもって協賛していただける企業の募集
- 2)難病に対する理解を深めていただくためのMBT-WEBセミナーの実施
- 3)難病に立ち向かう人々を勇気づけ応援するMBT映画祭の開催
- 4)難病克服支援のためのMBTコンソーシアムへのご寄附の受付

の4本柱で進めています。

1)協賛企業と協賛事例紹介

難病克服支援キャンペーンに協賛していただいている企業様の協賛事例です。
協賛には費用は必要ありません。企業に合わせた協賛方法でご参加ください。協賛をお待ちしております。

種類	会社名	協賛PRの内容
自社商品にロゴマークシールを貼る、又は印刷	レック(株) (株)三笠	   
自社広告の中で協賛を紹介	近畿日本鉄道(株)	 <p>近鉄はMBT難病克服キャンペーンに協賛しています。</p>
デジタルサイネージでPR	クオール(株) 関西文化学術研究都市センター(株)	 <p>クオール(株) 全国約900店の直営調剤薬局に設置のデジタルサイネージで キャンペーンをPR</p>  <p>関西文化学術研究都市センター(株) が運営する「サンタウン・ザ・すずらん館」の デジタルサイネージで MBTイベントの静止画広告</p>
自社ホームページで協賛を紹介	(株)Yu Vision (株)デルフィーノケア	 <p>(株)デルフィーノケア</p> 
MBTイベントのポスター掲示やチラシを配布	(公財)奈良先端科学技術大学院大学支援財団 城南信用金庫、他	

2)難病克服支援WEBセミナー

○第4回難病克服支援WEBセミナー

2023年3月11日(土)に第4回"難病克服支援WEBセミナー"を開催しました。

第1部は、難病に関する薬開発を医師主導治験で進めておられる千葉大学准教授の三澤園子氏にご講演いただき、“難病の1つでもあり、手足がしびれたり力が入らなくなったりする末梢神経障害など全身に多くの症状を引き起こすPOEMS症候群(<https://poems.jp/about-poems/>)”の治療薬を、医師主導治験で実施し、そこで苦労された体験や薬事取得までの課題”を紹介されました。

第2部は、幼児教室の代表で講師でもあり、競泳の池江璃花子選手の母でもある池江美由紀氏にご講演いただき、“次女の璃花子さんが、競泳選手として数々の国内新記録を出して脚光を浴びていた高校3年生の2月に白血病を宣告された際の驚きと、その復活に向けて親子で取り組んだ闘病生活の様子”を紹介し、“そこで克服できたポイントは、i)自分を信じること、ii)人間力を育てること、iii)本番力をつけること、である”と締めくられました。



○第5回難病克服支援WEBセミナー(2023年9月2日(土)15:00~16:30)予告

第5回は、「死を望むひとに私たちは何をすべきか」と題して医療現場で難病に立ち向かう下畠享良氏と、「もしきょうだい児という言葉を知っていたら～患者家族としての後悔～」と題して小児がん・心臓病などの慢性的な疾患・長期にわたる治療や入院が必要な子どもたちとその家族を支援する活動を行っている吉田ゆかり氏に、ご講演をいただきます。



3) MBT映画祭～地域上映会の取り組み～

希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境を多くの方々に理解いただく啓発活動の一環でスタートしたMBT映画祭、MBTコンソーシアムでは、映画祭で表彰された優秀作品や入賞作品を、作品監督の了解を得て、全国各地域のイベント等で上映しキャンペーンの輪を拡大していきます。

現在、2022年1月8日実施の第1回MBT映画祭(於:奈良県橿原文化会館)の入賞作品を活用して、これまでに計4回の無料上映の機会を持ちました(下の表に詳細)。

今後、2023年1月14日実施の第2回MBT映画祭(於:有楽町朝日ホール)の作品も加えて、この取り組みを継続していきます。



実施会場の様子
(左上)①けいはんな映画劇場
(右上)②MBTうめきた映画劇場
(左下)④和歌山田並劇場



No.	実施日	主催者	イベント名称	会場	備考
①	2022/03/19	(株)けいはんなMBTコンソーシアム共催	けいはんな映画劇場	けいはんなプラザ メインホール (京都府精華町)	毎月実施の「けいはんな映画劇場」に編入、午前・午後の2回上映
②	2022/10/01	MBTコンソーシアム 協力:読売新聞社	MBTうめきた映画劇場	うめきた外庭SQUARE (大阪市梅田2期開発地域)	屋外芝生広場で実施
③	2023/02/18	岡山県 高梁市立図書館	難病克服支援 2021MBT映画祭 高梁市図書館	高梁市立図書館 (岡山県高梁市)	映画監督:西尾孔志氏の特別講演もセット
④	2023/04/15	田並劇場保存会	難病克服支援 MBT映画劇場 at田並劇場	田並劇場 (和歌山県串本町)	

4) キャンペーン協賛新商品開発の紹介

会員企業の(株)三笠は、2021年から奈良県立医科大学と共同研究を重ね、2022年にリハビリテーション学会でその成果を発表した手指の動作トレーニング手袋について、2023年7月12日に世界初、日常生活をしながらトレーニングができる「にぎるくん®」として商品の発売を開始しました。

共同研究では、パーキンソン病の患者の握力や指で挟む力の向上が見られましたが(QRコード参照)、まずは手指の衰えた高齢者のフレイル予防を目的とした商品として発売されました。今後、医療機器認証を取得する事も検討されています。



「にぎるくん®」は、日常生活で「力が入りづらい」、「ペットボトルが開けづらい」、「ものがつかみにくい」などの困った症状が気になる方に使っていただきたい手袋で、着用すると自然と手指に負荷がかかり、生活の中で鍛えられる商品となっています。

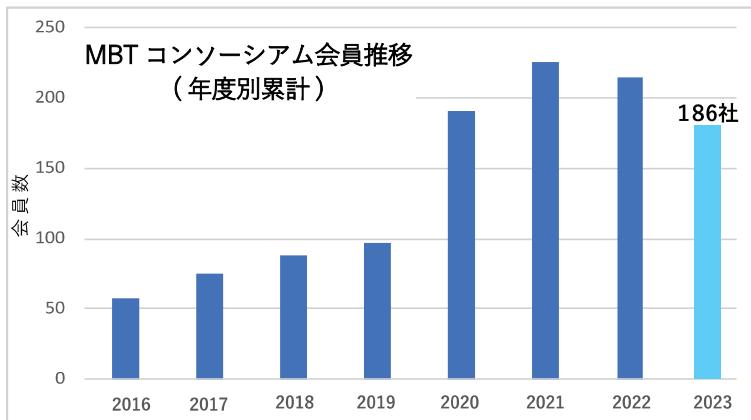
色:黒、ベージュ
サイズ:S~M、M~L
価格:税込5,980円

ご購入は、(株)三笠のホームページから。
(<https://www.kk-mikasa.co.jp>)

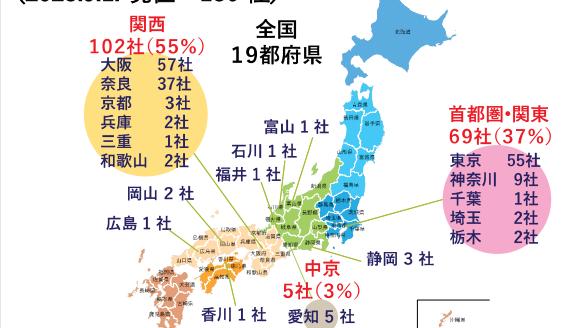


MBT コンソーシアム情報 : 会員数の推移と本社所在地国内分布

MBTコンソーシアムは、2016年4月に57会員で発足、2017年～2019年は微増、2020年にはコロナ禍対策等の取り組みで評価や商品化を希望する会員参加で一気に216社まで増えましたが、コロナ禍収束と共にコロナ関連企業が退会し、現在は186社となっています。会員企業の本社分布は、東京55社、大阪57社をはじめ、全国19都府県となっています。



MBT コンソーシアム会員企業本社所在地国内分布 (2023.9.1. 現在 : 186 社)



奈良県立医科大学と共に、医学を基礎とする安全、安心のまちづくりを通じて、社会に貢献するMBTコンソーシアム会員 186企業・団体(業種別で記載)

(2023年9月1日現在)

業種別	MBTコンソーシアム会員	企業数
建 設	(株)イムラ、(株)奥村組奈良支店、(株)片山工務店、(株)きんでん奈良支店、(株)グッドライフ、グリーンアーム(株)、(株)崎山組、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、(株)内藤建築事務所、(株)中尾組、松田電気工業(株)、(株)松田平田設計、(株)ライフアートプランテック	15
食 品	石井物産(株)、江崎グリコ(株)、(株)大阪王将、春日井製菓(株)、カバヤ食品(株)、カンロ(株)、三和澱粉工業(株)、タヒボジャパン(株)、UHA味覚糖(株)	9
繊維・パルプ・紙	(株)イムラ、(株)オーエムスポーツ、(株)サンロード、(株)島田、(株)新生、住江織物(株)、(株)タカギ、(株)高木包装、帝人フロンティア(株)、東洋紡(株)、(株)ハヤシ・ニット、(株)Bonrich、(株)三笠、モード・ユーニット工房(株)	14
化 学	旭化成(株)、石原産業(株)、SBカワミ(株)、積水マテリアルソリューションズ(株)、(株)テクノープル、ナノソリューション(株)、三菱ガス化学トレーディング(株)、明晃化成工業(株)、山本商事(株)	9
医薬品	クオール(株)、(株)グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業(株)、塩野義製薬(株)、新大和漢方(株)、積水メディカル(株)、中外製薬(株)、(株)ソムラ、ロート製薬(株)	9
鉄鋼・非鉄・金属	(一社)日本銅センター、丸一鋼管(株)、三菱マテリアル(株)	3
機 械	グローリー(株)、KTX(株)、シンクス(株)、(株)タカゾ、(株)タカトリ、DMG森精機(株)、テクノグローバル(株)、不二精機(株)、三菱重工パワー環境ソリューション(株)、ユニオンツール(株)	10
電気機器	(株)アイ・オー・データ機器、アイワ(株)、(株)AirLabo、(株)エム・エイチ・シー、オーニット(株)、(株)オーディオテクニカフクイ、(株)カルテック、(株)コムテック、G-smatt Japan(株)、シャープ(株)、シャープディスプレイテクノロジー(株)、(株)タムラテコ、日本捲線工業(株)、富士通Japan(株)、(株)フジファインズ、(株)村田製作所	16
医療・精密機器	岩崎工業(株)、エア・ウォーター(株)、(株)ADI.G、大研医器(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、(株)ケアコム、セン特殊光源(株)、テルモ(株)、凸版印刷(株)、奈良精工(株)、ニプロ(株)、バイオゾンメディカル(株)、(株)ビーアージー、フクダ産業(株)、(株)プロルート丸光(株)	15
その他の製造	あけぼの化成(株)、エクレール(株)、(株)オーシャン、カナサシテクノサービス(株)、グラストップ(株)、(株)K&S、ケイミュー(株)、三友商事(株)、(株)J-STYLED、昭和西川(株)、(株)ゼン、ダイドレ物流(有)、(株)デルフィーノケア、日本ファイリング(株)、(株)半導体エネルギー研究所、(株)チフアーマスト、やまと真空工業(株)、ラフェスタリンク(株)、レック(株)	19
商 業	(株)電響社、(株)農業総合研究所、(株)Yu Vision	3
金融・保険	城南信用金庫、損害保険ジャパン(株)、東京海上日動火災保険(株)奈良支社、奈良中央信用金庫、(株)南都銀行、日本生命保険(相)、(株)三井住友銀行	7
運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス(株)、五條メディカル(株)	2
情報・通信	(株)NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク(株)、(株)三技協、(株)産業経済新聞社、Takusu(株)、西日本電信電話(株)奈良支店、日新ネットワークス(株)、(株)日本経済社、(株)日本経済新聞社、ピクシーダストテクノロジーズ(株)、(株)プロアシスト、(株)三菱総合研究所、(株)読売新聞大阪本社	13
電力・ガス	大阪ガス(株)、関西電力(株)、(株)関電エネルギーソリューション、大和ガス(株)、奈良電力(株)	5
サービス	(株)アデランス、(株)アリエル、RFJ(株)、ALSOK昇日セキュリティサービス(株)、(株)SRA、環境衛生薬品(株)、北関東綜合警備保障(株)、(株)健康都市デザイン研究所、(一財)弘済会、(株)小山、(有)サンスバル、社会システムデザイン(株)、セコム(株)樋原支社、大和リゾート(株) THE KASHIHARA、(株)ディー・エス・エー、(株)ドクターネット、(株)ドトールコーヒー、(株)奈良ホテル、(株)日経アドエージェンシー、(同)force、ヘルスグリッド(株)、(株)ミエルカ防災、明豊ファシリティワークス(株)、(株)メディカルノート、(株)メディケアリンク(株)、(株)ライフビジネスウェザー、(株)レスコ、ロイヤルコントラクトサービス(株)、(株)ローソン奈良支店、ワタキューセイモア(株)	30
公共・その他 (自治体、大学、病院等)	(医)梅華会、樋原市、東急(株)東急病院、(一社)奈良経済産業協会、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友紹会病院	7

※入会のご希望やお問い合わせは、下記事務局へ (年会費:5万円)

一般社団法人 MBTコンソーシアム

〒634-8521

奈良県樋原市四条町840番地 奈良県立医科大学 研究推進課内

TEL : 0744-29-8853 FAX : 050-3164-5598 E-mail : mbt@mbt.or.jp

会員ご相談・お問い合わせ窓口 : 塩山忠夫



<https://mbt.or.jp>

2023年9月1日現在のものです

